

【今週の注目疾患】

【麻しん】

2017年第40週に船橋市保健所管内の医療機関から1例の麻しんの届出があった。患者は40歳・男性でワクチン接種歴は不明であり、潜伏期間中に海外渡航歴はなく国内での感染が推察される。発症日は9月26日であり、麻しんウイルスの遺伝子型はD8であった。今後当該患者を起点とした二次感染者が発生する恐れがあり注意が必要である。前週(第39週)には、印旛保健所管内の医療機関からも1例の麻しんの届出を認め、麻しんウイルスの遺伝子型は同じくD8であった。全国でも第39週に千葉県1例を含む4例が届け出られており、麻しんの届出が増加している。麻しんは空気感染、飛沫感染、接触感染と様々な経路により伝播し、また感染力が非常に強い。特異的な治療法もなく、今なお先進国であっても1,000人に1人の割合で死亡する可能性がある。日本は2015年3月に麻しん排除の認定を受けたが、その後も海外へ(から)の渡航者の麻しんや、今回のように海外渡航歴のない麻しんの届出例を認めている。麻しんの予防には2回の麻しん含有ワクチンの接種が最も効果的であり、引き続き定期接種の啓発を続け接種率の向上を図っていくことが重要である。

表：2017年第40週までに千葉県内医療機関から届け出られた麻しん例

保健所	性別	年齢	月齢	病型	診断日	診断週	接種歴				遺伝子型
							1回目	(年齢)	2回目	(年齢)	
柏市	男	28	9	麻しん(検査診断例)	8月16日	33週	不明		不明		D8
印旛	女	26	10	麻しん(検査診断例)	9月29日	39週	無		無		D8
船橋市	男	40	7	修飾麻しん(検査診断例)	10月5日	40週	不明		不明		D8